



# ヤガミ 教材提示装置 DC-172

## 取扱説明書

### ご使用にあたって

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を表示しています。その表示と意味は次のようになっています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

### 絵表示の例



記号は、注意(用心して欲しい)を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(上図は、感電注意)が示されています。



記号は、禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(上図は、分解禁止)が示されています。



記号は、強制(必ず実行して欲しい)したり指示したりする内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な行為が示されています。



### 注意



同梱した電源ケーブルは、同梱した電気機器以外では使用しないでください。

- ・電源は AC100V(50/60Hz)のコンセントに接続してください。
- ・電源コードは確実に根元まで確りと差し込んでください。差し込みが不十分な場合、埃が付着している場合、極度なこ足配線などはしないでください。機器の故障、感電、発火の原因になります。
- ・電源コードを踏むような場所に本製品を設置しないで下さい。電源コードまたはプラグが踏まれ、損傷する可能性がありますのでご注意ください。
- ・本製品を傾斜がある場所や不安定な場所、または水や熱源の近くでのご使用は避けてください。
- ・本製品を掃除する際はコンセントから電源プラグを抜き、固く絞った布で水拭きに留めてください。液体洗剤やエアゾール洗剤等は使用しないでください。変色や劣化の原因になります。
- ・本製品が水没した場合は直ちに使用をやめ、本製品の電源プラグを抜いてください。最寄の販売店に修理を依頼してください。
- ・本製品のカバーにあるスロットと開口部は塞がないようにご使用ください(過度な温度上昇を防止します)。
- ・長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。
- ・リモートコントローラに不適切なタイプのボタン電池を使用すると故障する可能性があります。使用済みボタン電池の処分は、地方自治体の廃棄方法に従ってください。
- ・保守点検は取扱説明書に記載されている内容に留めてください。その他の修理は販売店にご相談ください。
- ・お使い頂くTVによって、赤外線障害によりリモコンの効きが悪くなる場合があります。その場合は、教材提示装置とTVをできるだけ離れた位置でご使用ください。

ソフトウェア、ソフトウェアマニュアルのダウンロードは、「ヤガミ」ホームページへアクセスして下さい。

カテゴリ内検索で「書画カメラ」と入力して頂くと関連ページが表示されますので、必要に応じてダウンロードして下さい。

## 目 次

### 1. 使用上のご注意

- 1-1 FCC 警告
- 1-2 IC 警告
- 1-3 EN55032 CE 警告

### 2. パッケージ内容

### 3. 製品仕様

- 3-1 製品概要
- 3-2 ユーザーおよび製品の相対的な位置見取り図

### 4. 設置と接続

- 4-1 システム図
- 4-2 アプリケーションソフトウェアのインストール

### 5. 使用準備

### 6. パネル/リモートコントローラと設定メニューの紹介

- 6-1 コントロールパネルおよびリモートコントローラの機能
- 6-2 設定メニュー
- 6-3 マスクモード設定メニュー
- 6-4 スポットライトモード設定メニュー
- 6-5 アノテーションツール

### 7. 主要機能

- 7-1 輝度・フォーカスの自動調整
- 7-2 画像ソースの切り替え
- 7-3 フリーズ機能
- 7-4 画像の回転
- 7-5 画像の録画、再生
- 7-6 マスクおよびスポットライトモード
- 7-7 画像比較機能

### 8. 顕微鏡との接続

### 9. ディップスイッチの説明

- 9-1 ディップスイッチの説明
- 9-2 解像度スイッチ

### 10. トラブルシューティング

### 11. 保証書

# 1.使用上のご注意

## 1-1 FCC 警告

この製品は、FCC 規則のパート 15 に基づいてテストされ、クラス A デジタル機器に関する制限に準拠することが認められています。これらの制限は、製品が商業的環境で操作されるとき有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように製作されています。

## 1-2 IC 警告

この製品は、カナダ産業省の ICES-003「デジタル装置」という標題の干渉妨害規則で決められているように、デジタル機器からの無線干渉のクラス A 制限を超えていません。

## 1-3 EN55032 CE 警告

住居環境での当製品の使用は電磁波の干渉を生じる可能性があります。

# 2.パッケージ内容

DC172 本体



取扱説明書



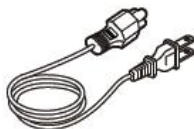
HDMI ケーブル



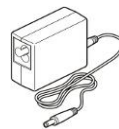
USB ケーブル



電源コード



電源アダプタ



顕微鏡アダプタ



リモートコントローラ

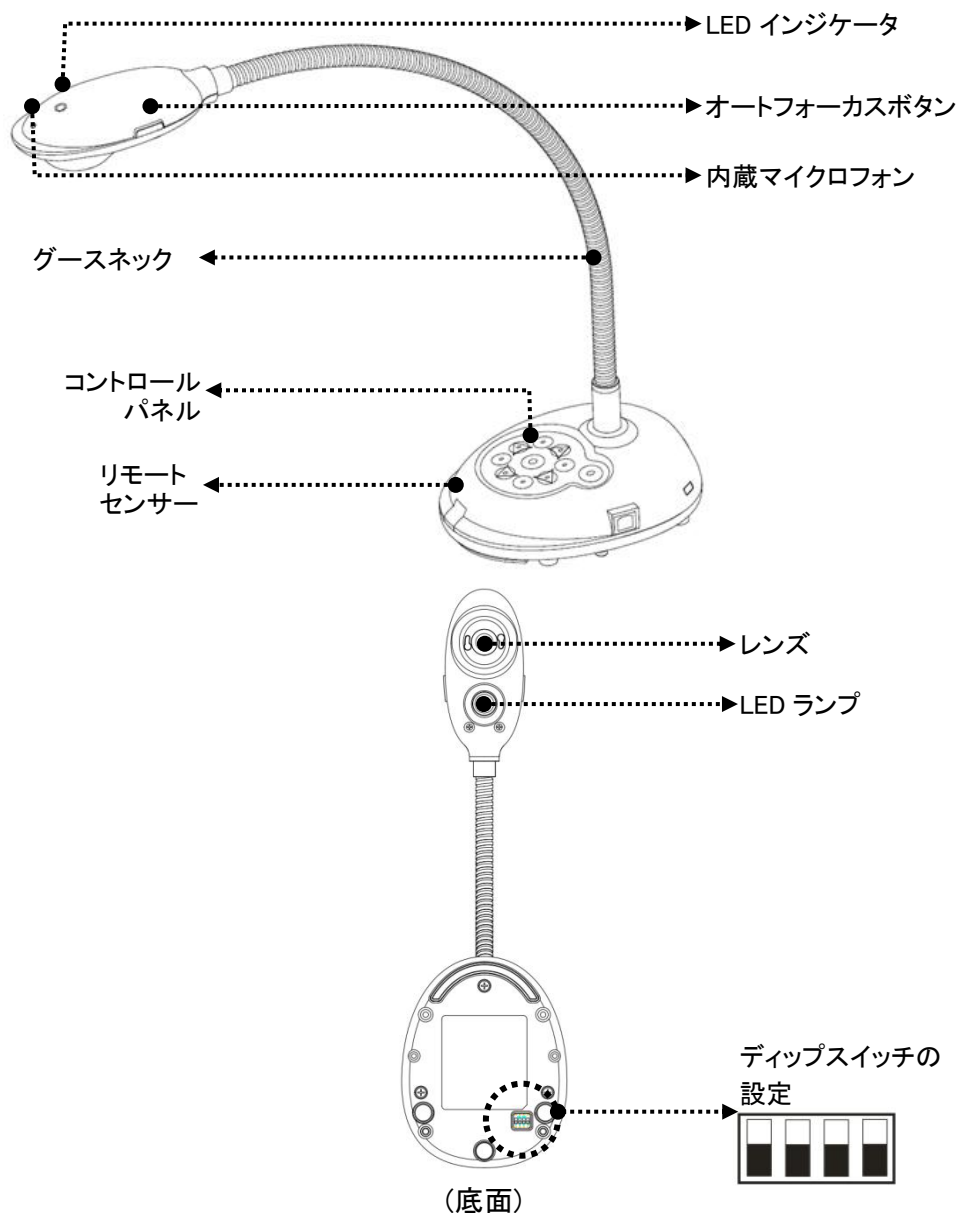


3P→2P 変換アダプタ

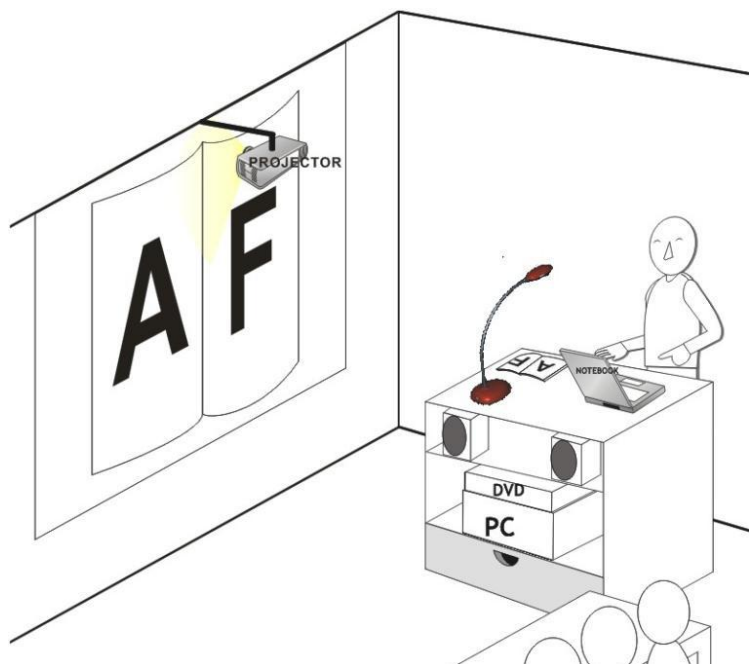


### 3.製品仕様

#### 3-1 製品概要

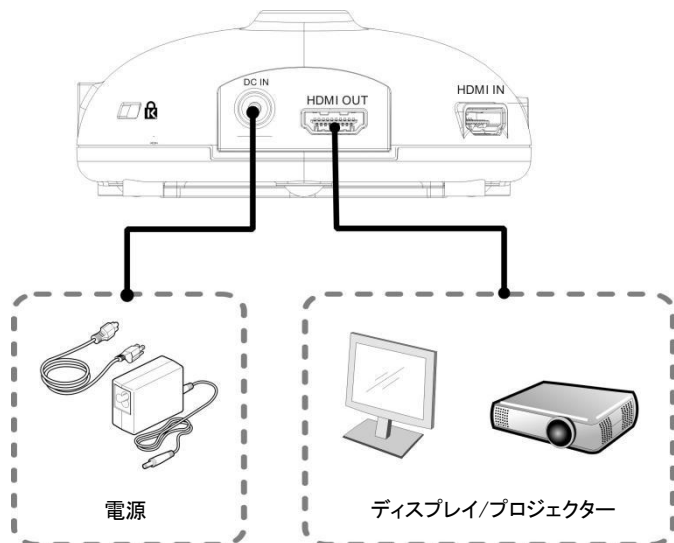


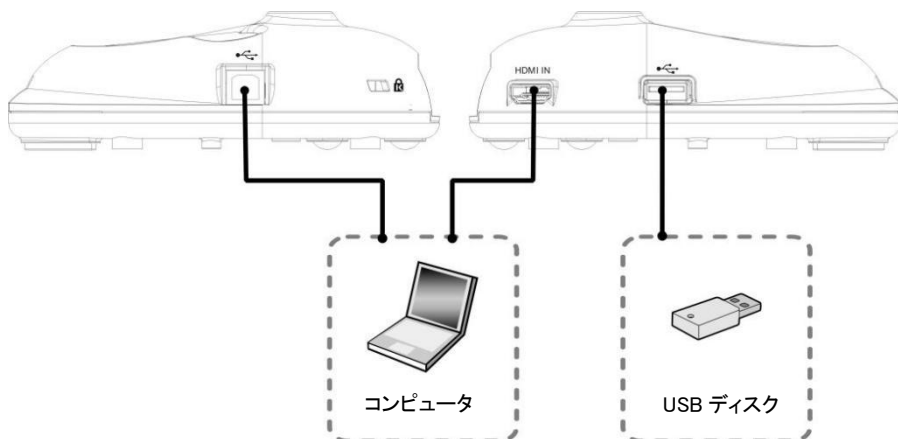
### 3-2 ユーザーおよび製品の相対的な位置見取り図



## 4. 設置と接続

### 4-1 システム図

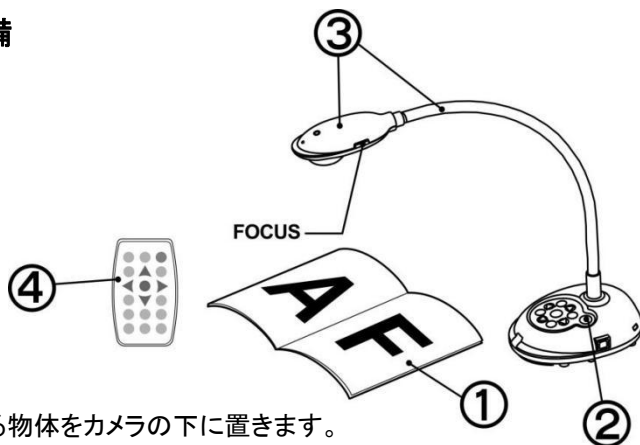






#### 4-2 アプリケーションソフトウェアのインストール

最初にディップスイッチの設定を行ってください。  
本紙の「9.ディップスイッチの設定」を参照してください。

### 5.使用準備



1. 表示する物体をカメラの下に置きます。
2. 電源  をオンにします。
3. グースネックでレンズを適切な位置に合わせます。
4. [AUTO TUNE]  をクリックすると、画像が最適化できます。

これで、授業やプレゼンテーションの準備ができました。

**[注釈]** カメラヘッドを移動する毎に[FOCUS]ボタンを押して、レンズのピントを再び合わせてください。

## 6. パネル/リモートコントローラと設定メニューの紹介

### 6-1 コントロールパネルおよびリモートコントローラの機能

アイコン	名称	機能の説明	操作
	Power	オンとオフ。5～10 秒間押し続けると電源オフになります。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	Arrow Key	上、下、左または右に移動して必要な機能を選択します。	リモートコントローラ / コントロールパネル
FOCUS	FOCUS	オートフォーカス。	レンズの両側
	AUTO TUNE	輝度およびフォーカス性能が最良になるように画像を自動的に調整します。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	BRT+/-	画像の輝度を手動で調整します。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	CAPTURE	USB ディスク(優先)または内部メモリに画像を取り込みます。	コントロールパネル
	CAPTURE /DEL	ライブ画像表示中、取り込まれた画像をUSB ディスク(優先)または内部メモリに保存します。 保存されたファイルを読み込み中、USB ディスク(優先)または内部メモリ上のファイルを削除します。 (再生モード時)	リモートコントローラ
	ENTER	起動/機能へのエントリー。	リモートコントローラ
	ENTER/ FREEZE	ライブ画像: 画像をフリーズ表示します。 OSD モード: 起動/機能へのエントリー。	コントロールパネル

	FREEZE	現在の画像をフリーズして、画面上に一時的に表示された状態にします。再度押してフリーズを解除します。	リモートコントローラ
	LAMP	ランプモード切り替えスイッチ。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	MASK	マスク/スポットライトモードに入ります。	リモートコントローラ
	MENU	メニュー設定/メニュー終了を起動します。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	PAN	部分拡大モードを有効/無効にします。	リモートコントローラ
	PIP	画像の比較(ライブ画像を保存された画像ファイルと比較します)。	リモートコントローラ
	PLAY BACK	USB ディスク(優先)または内部メモリに保存されたファイルを読み出します。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	RECORD	動画を録画します。	リモートコントローラ
	ROTATE	スクリーン回転 0° / 180° / 垂直反転 / 水平反転 / 90° / 270°	リモートコントローラ
	SOURCE	入力ソースをライブ画像(デフォルト)または HDMI 画像に切換えます。	リモートコントローラ / コントロールパネル
	ZOOM +/-	画像サイズを増減します。	リモートコントローラ / コントロールパネル



## 6-2 設定メニュー

[注釈] リモートコントローラまたはコントロールパネルで[MENU]を押すと、設定メニューが表示されます。



	<p><b>自動調整</b> 輝度およびフォーカス性能が最良になるように画像を自動的に調整します。</p>		<p><b>スライドショー(Slide Show)</b> スライドモードで USB ディスク(優先)または内部メモリに保存された写真またはビデオを表示します。</p>
	<p><b>パン</b> 部分拡大モードを有効/無効にします。</p>		<p><b>マニュアルフォーカス</b> マニュアルフォーカス。</p>
	<p><b>ランプ</b> ランプモード切り替えスイッチ。</p>		<p><b>回転</b> スクリーンの回転角を設定します。</p>
	<p><b>PIP</b> ライブ画像を保存画像と比較します。</p>		<p><b>設定</b> 各種機能を設定します。</p>
	<p><b>輝度</b> 画像の輝度を手動で調整します。</p>		<p><b>写真/テキスト</b> 写真/テキスト/グレーモードを選択します。</p>

	<b>マスク</b> マスクモードを有効にします。		<b>アノテーション</b> 画像に注釈やマークを付けます。
	<b>ズーム</b> 画像サイズを増減します。		<b>モード</b> 画像モードを選択します。
	<b>スポットライト</b> スポットライトモードを有効にします。		<b>終了(Exit)</b> 設定メニューを終了します。

第 1 レベル 主項目	第 2 レベル 副項目	機能の説明
画像取り込み (Capture)	画像取り込みモード (Capture Mode)	左および右矢印キーを使用して画像取り込みモードを選択します。
	画像取り込み時間 (Capture Time)	左および右矢印キーを使用して取り込み時間を選択します。設定範囲は 1～72 時間です。 〈注〉 これは画像取り込みモードがタイムラプスに設定されたときのみに有効となります。
	画像取り込み間隔 (Capture Interval)	左および右矢印キーを使用して取り込み間隔を選択します。設定範囲は 3 秒～5 分間です。 〈注〉 これは画像取り込みモードがタイムラプスに設定されたときのみに有効となります。
	画質 (Image Quality)	左および右矢印キーを使用して、取り込まれる画像および録画されるビデオの画質を選択します。
保存 (Storage)	スライドショー (Slide Show)	スライドモードで USB ディスク(優先)または内部メモリに保存された写真またはビデオを表示します。 〈注〉 上限:一枚の写真の最大サイズは 7 MB です。
	表示間隔 (Delay)	次のスライドへの移行時間を左右の矢印キーで 0.5～10 秒の範囲、または手動に設定します。
	USB ディスクへのコピー (Copy To USB Disk)	ファイルを内部メモリから USB ディスクへコピーします。
	全画像消去 (Delete All)	USB ディスク(優先)または内部メモリに保存された画像を全部消去します。
	フォーマット (Format)	USB ディスク(優先)または内部メモリをフォーマットします。

第 1 レベル 主項目	第 2 レベル 副項目	機能の説明
コントロール (Control)	自動露出 (Auto Exposure)	外部環境が変化しても、装置は輝度を最適な状態に調節します。
	自動 ホワイトバランス (Auto White Balance)	外側の明るさまたは色に変化しても、装置は色を最適な状態に調整します。
	オーディオ出力音量 (Audio Out Volume)	左および右矢印キーを使用してボリュームを調節します。
	マイクレベル (Mic Levels)	左および右矢印キーを使用してボリュームを調節します。
	デジタルズーム (Digital Zoom)	左および右矢印キーを使用してデジタルズームをオン/オフします。
アドバンス設 定(Advanced)	言語 (Language)	異なる言語に切り替えます。合計 20 種の言語から設定できます。
	パスワード ロック (Lock Down)	電源オン時のパスワードロックを設定します。
	自動メモリー消去 (Auto Erase)	オフを選択すると、保存された画像が自動的に消去されます。
	プリセットロード (Preset Load)	現在の画像モードの値を読み取ります。
	プリセットセーブ (Preset Save)	現在の画像モードの値を保存します。
	スプラッシュ画面の設 定 (Splash Screen Settings)	[Splash Screen Settings]ウインドウを表示。
	工場出荷状態 (Factory Reset)	操作を工場デフォルト設定に戻します。
ファームウェア バージョン (Firmware Version)	FW バージョンを表示します。	

### 6-3 マスクモード設定メニュー

機能の項目	機能の説明
ライブ画像	[ENTER]を押してライブ画像に戻ります。
透明度	左および右矢印キーを使用してマスクの透過性を調節します。
スクロール距離	左および右矢印キーを使用してマスクの幅を選択します。
垂直サイズ	左および右矢印キーを使用してマスクの高さを選択します。
水平サイズ	左および右矢印キーを使用してマスクの幅を選択します。
終了	[ENTER]を押すと選択内容が確定され、マスクモード設定メニューを終了します。

### 6-4 スポットライトモード設定メニュー

機能の項目	機能の説明
ライブ画像	[ENTER]を押してライブ画像に戻ります。
形状	スポットライト区域の形状を選択するには、左右矢印キーを使用してください。
透明度	左および右矢印キーを使用してスポットライトモードでの境界線の透過性を調節します。
スクロール距離	スポットライト区域の形状を選択するには、左右矢印キーを使用してください。
垂直サイズ	スポットライト区域の形状を調節するには、左右矢印キーを使用してください。
水平サイズ	スポットライト区域の形状を調節するには、左右矢印キーを使用してください。
終了	[ENTER]を押すと選択内容が確定され、スポットライトモード設定メニューを終了します。

## 6-5 アノテーションツール






USB 経由でマウスを接続してから、 を右クリックすると、設定メニューの描画機能がオンになります。

マウスが画面右に留まると、マウスのアノテーションツールが有効になります。

〈注釈〉 選択できるのは、USB 画面またはマウスアノテーションのみです。

○ マウスアノテーションを選択してから、USB ケーブルを外してください。

○ USB 画面にアクセスする際はマウスアノテーション機能が使用中ではないことを確認してください。

アイコン	説明	アイコン	説明
	カスタムツール 1		すべて消去
	カスタムツール 2		アノテーションツールの設定メニューを開きます
	イレーサ		アノテーションツールを終了します

## 7.主要機能の説明

### 7-1 輝度およびフォーカス性能が最良になるように画像を自動的に調整したい 以下のリモートコントローラまたはコントロールパネルを使用します:

1. [AUTO TUNE]を押して、輝度およびフォーカス性能を最適にします。

### 7-2 画像ソースを切り替えたい

ライブ画像はデフォルトの画像ソースです。DC172 の画像ソースを以下の範囲で切り替えるには、リモートコントローラまたはコントロールパネルの[SOURCE] を



押します:

1. ライブ画像(デフォルト)。
2. HDMI 入力

**[注釈]** この画像切換えは同時に HDMI OUT にも適用されます。

### 7-3 画像をフリーズしたい

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[FREEZE]を押して、画面上の現在の画像をフリーズします。再度押してフリーズを解除します。

### 7-4 画像を回転させる

リモートコントローラ:

1. 画像を回転するには、[ROTATE]キーを押します。(シーケンスは以下の通り:  
0° /180° /垂直反転/水平反転/90° /270° )

コントロールパネル:

1. [MENU]をクリックして設定メニューにアクセスしてから、[ROTATE]機能を選択します。[▶] または [◀] を押して回転を調節します。

**[注]** HDMI出力が 90° /270° モードの時、USB 画面表示は0° となり、PAN、PIP、録画機能は無効となります。

## 7-5 画像の録画、再生

[注] USB ディスクを DC172 に接続してから画像の録画を開始します。

### 7-5-1 動画の録画

[注釈] [Capture Image]モードが[Disable]に設定されていると、画像の取り込みまたは録画ができない場合があります。

リモートコントローラ:

1. リモートコントローラの[RECORD]を押して、ビデオ録画を開始します。  
[RECORD]を再度押して録画を停止します。
2. コントロールパネルの内蔵マイクروفオンで音声を録音します。

コントロールパネル:

1. [Capture]ボタンを約 2 秒押し続けると、画像の録画が始まります。  
[Capture]を再度押して録画を停止します。

### 7-5-2 画像の再生

1. 保存されたファイルのサムネイルを表示するには、【リモートコントローラ】または【コントロールパネル】で[PLAYBACK]を押します。
2. [▶]、[◀]、[▲]または[▼]を押して再生させたいサムネイルを選択します。
3. 全画面再生にするには[ENTER]を押します。
4. ビデオの再生中に[Freeze]を押すことで、一時停止/再生ができます。
5. [▶]または[◀]を押して各種の画像/ビデオおよび音声ファイルを選択します。
6. [▲]または[▼]を押してビデオの音量を調節します。
7. [MENU]を押して終了します。

## 7-6 マスクおよびスポットライトモード

リモートコントローラ:

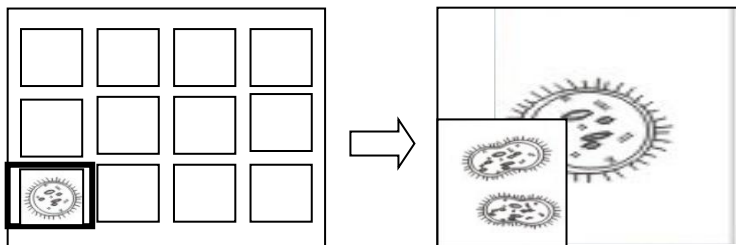
1. [MASK]を押すと、マスク/スポットライトモードメニューが表示され、ライブ、透明度、ステップ、V サイズ、H サイズに対する設定が行えます。

コントロールパネル:

1. [MENU] を押すと、設定メニューが表示され、[Mask]を選択すると、ライブ、透明度、ステップ、V サイズ、H サイズに対する設定が行えます。

## 7-7 画像比較機能

この機能はライブ画像を保存されている画像と比較および対比します。



### リモートコントローラ:

1. [Playback]を押すと、サムネイル画像が表示されるので、比較したい画像を選択します。
2. [PIP]を押して画像比較を起動します。方向キーを押して、ライブ画像を移動します。
3. 他の画像ファイルの変更にはステップ 1～2 を繰り返します。

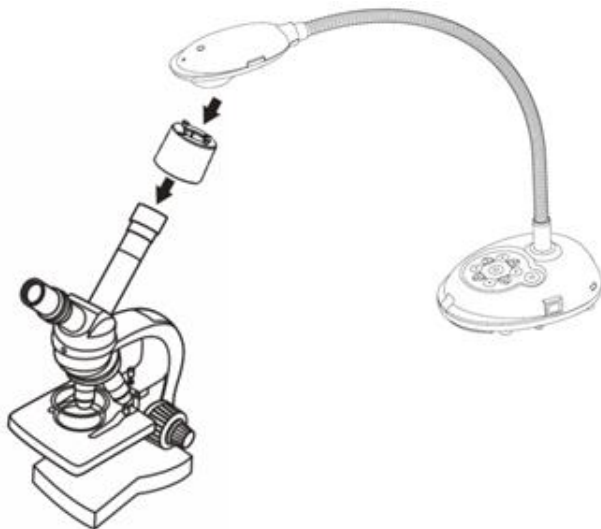


## 8. 顕微鏡との接続

- 1 顕微鏡アダプタを顕微鏡に取り付けます。

[注] 付属品の顕微鏡アダプタはφ28 mmの接眼レンズに適用できます。

- 2 顕微鏡アダプタをDC172のレンズに接続します。



- 3 画像が鮮明でない場合

顕微鏡の焦点を調節してください。

本体のレンズの両側に付いている[FOCUS]ボタンを押して、オートフォーカスを起動してください。

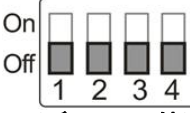

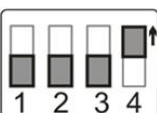
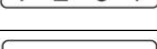
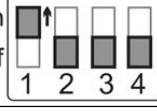

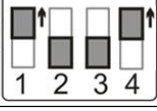





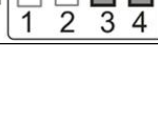

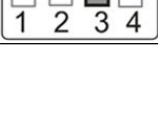

※顕微鏡モードに設定してご使用ください。

## 9.ディップスイッチの設定

### 9-1 ディップスイッチ(DIP)の説明

DIP	機能の説明
DIP 1 & DIP 2	出力解像度
DIP3	OFF (ノーマルモード): 30 fps、一般シーンに適用。 ON (高速モード): 60 fps、高速で変化するシーンへの対応に適用。 (1080P および 720P にのみ適用、4K は非適用)。
DIP4	OFF: 60 Hz、 ON: 50 Hz

### 9-2 解像度スイッチ

解像度	60Hz	50Hz
1920 x 1080	On  Off  (デフォルト値)	On  Off 
3840 x 2160	On  Off 	On  Off 
1280 x 720	On  Off 	On  Off 
1024 x 768	On  Off 	On  Off 

## 10.トラブルシューティング

以下の内容で解決できない場合は、販売業者にお問い合わせください。

番号	問題	解決方法
1	電源が入らない	電源コードが確実に差し込まれているか確認してください。
2	画像が出力されない	1. 電源をチェックしてください。 2. すべてのケーブル接続をチェックしてください。このマニュアルの「4. 設置と接続」を参照してください。

		<p>3. [Source]をチェックします。  <b>「7-2 主要機能の画像ソースの切り替え」</b>を参照してください。</p> <p>4. プロジェクターのソースの設定をチェックしてください。プロジェクターの取扱説明書をご参照ください。</p> <p>5. ディップスイッチが正しく設定されているかチェックしてください。関連する設定については、「9. ディップスイッチの設定」を参照してください。</p>
3	焦点を合わせることができない	<p>文書が近すぎる可能性があります。リモートコントローラまたは <b>コントロールパネル</b>で[ZOOM -]を押してください。または、文書からレンズを遠ざけ、距離を長くして、レンズの両側に付いている[FOCUS]ボタンを押して自動フォーカスにします。</p>
4	画像が不完全	<p>プロジェクターの自動画像設定をチェックします。プロジェクターの取扱説明書を参照するか、ディップスイッチの設定をチェックしてください。</p>
5	アプリケーションの同時使用について	<p>書画カメラ、<b>Ladibug™</b>及びその他のアプリケーションは同時に実行できません。現在実行中のアプリケーションを閉じてから、使用するアプリケーションを実行します。</p>
6	照明について	<p>ヘッドランプが[Off]に設定されていることを確認してください。本体の電源が入ると、補助照明は点灯しません。</p>
7	USB フラッシュドライブに保存されたデータが読み込めない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対応ディスク形式は exFAT です。使用前に本体を使ってディスクをフォーマットすることをお勧めいたします。</li> <li>2. 4 G 以上の容量の USB フラッシュドライブが推奨(最大 256 G に対応)</li> <li>3. ファイルが、指定されたパス:¥DCIM¥100MEDIA に保存されていることを確認してください。(例:J:¥DCIM¥100MEDIA)</li> <li>4. ファイル名が適切であることを確認してください。 例:英字 4 文字+ 数字 4 桁。(例:LUMN0001.JPG)</li> </ol>
8	画像の保存または反応が実行されない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保存されたデータが USB ディスク(優先)または内部メモリの最大サイズに達しているかどうかを確認します。</li> <li>2. 画像取り込み機能が連続モードに設定されているか、または取り込み時間が長く設定されているかどうかを確認してください。</li> </ol>
9	出力画像が明るすぎ、暗すぎ、またはぼんやりしている	<p>[AUTO TUNE]ボタンを押すと、最適な輝度および焦点距離に自動的に調整されます。</p>
10	画像を録画できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保存されたデータが USB ディスクの最大サイズに達しているかどうかを確認します。</li> <li>2. 録画機能は内蔵メモリではサポートできません。画像録画には、USB ディスクが装着されていることを確認してください。</li> </ol>
11	ロック解除の方法	<p>[MENU]を押して設定メニューにアクセス → [Settings] → [Advanced Settings] → [Lock Down] → [OFF] で、電源オン時のパスワードロック機能がオフになります。</p>
12	マウスが認識しない	<p>アノテーション機能を使用する際、一部のコードレスマウスは認識しない場合があります。コード付きマウスのご使用をお勧めします。</p>

# 11.保証書

## 保証書

品名	教材提示装置 DC-172
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	5年間
お客様	ご芳名
	ご住所
	お電話

お買上げ販売店名

印

この度は弊社商品をお買上げ頂きまして有り難うございます。本保証書は、販売店が必要事項を記入し捺印することにより発効致します。保証は下記保証の内容により責任を持って実施させていただきます。



株式会社 ヤガミ 名古屋市中区丸の内3丁目2番29号

### .....保証の内容.....

お買上げ頂きました商品は、一般保証として下記記載事項に基づき保証をさせていただきます。

**注：一般保証とは、取扱説明書に記載の取り扱い方法に基づき、正しく商品を取り扱ったにもかかわらず、不具合が発生した場合について保証するものであり、感覚的現象については、保証の対象となりません。**

**注：修理の際は教材提示装置の内蔵データは消去されますので、修理を依頼される前に PC や USB メモリにデータ保存して下さい。**

#### 1. 保証内容

- ① お客様が取扱説明書に基づき、商品を正しく取り扱い使用された場合に発生した不具合については、無償修理をさせていただきます。
- ② 部品の材質・製造技術上に起因する不具合・故障が発生した場合は、無償修理をさせていただきます。
- ③ 商品に不具合・故障が発生した場合は、保証書を提示の上販売店に修理を依頼して下さい。保証期間と保証条件に従って保証修理をさせていただきます。

**注：保証書のご提示がない場合は、有償となります。**

#### 2. 修理方法および修理の範囲

修理箇所の修理方法およびその範囲は、修理を行う販売店が決定させていただきます。

#### 3. 保証の適用除外事項

次の場合は、保証期間中であっても適用除外となり、それに要した費用は有料となります。

- ① 誤った取り扱いによって生じた損傷の場合。
- ② 落下事故・火災・天災による損傷の場合。
- ③ 手入れ不十分による損傷または汚れの場合。
- ④ 商品の機能に影響がない感覚的現象（部品の色合い・臭気・動作等）の場合。
- ⑤ 不具合発生後、遅滞なく修理をせず長期間そのまま使用したため、損傷が大きくなった場合。
- ⑥ 不具合の原因が、指定修理店以外でなされた修理が原因と判断された場合。
- ⑦ 改造が起因して、不具合が発生したと判断される場合。
- ⑧ 通常の注意・点検で発見できたにもかかわらず、注意義務を怠り放置したことにより不具合が拡大したと判断される場合。
- ⑨ 指定部品以外の部品を使用した場合に発生した損傷の場合。

#### 4. 費用負担の免責

- ① 弊社の責めに帰する不具合の修理に要した費用であっても、お客様が指定修理店以外で行った修理に要した費用。
- ② 弊社の責めに帰さない商品の輸送に要した運賃。

#### 5. 保証期間後の取り扱い

- ① 保証期間後に発生した不具合の修理は、全て有料になります。
- ② 保証期間後も商品を安心してご使用頂けるよう、適正な費用でアフターサービスを実施させていただきますので、販売店にお申し付け下さい。

#### 6. その他

本商品の保証について、ご不明な点は販売店にお問い合わせ下さい。



本 社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目2番29号  
 TEL (052) 951-9251 FAX (052) 951-6454  
 東京支店 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1丁目9番1号  
 TEL (03) 3915-2221 FAX (03) 3917-2221  
 大阪支店 〒547-0035 大阪市平野区西脇3丁目3番2号  
 TEL (06) 6702-9991 FAX (06) 6702-9522  
 福岡営業所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目5番7号  
 TEL (092) 471-1477 FAX (092) 471-0237